

蔵王



倫理は葉の目次が全てです

MS委員会 副委員長
白田 秀和



MS副委員長、エイムカイワ株式の白田秀和です。当社は、山形、宮城、福島で日配弁当や仕出しの製造と販売及び官公庁や企業の産業給食をしている会社です。

私は2年前に入社したのですが、それとほぼ同時期に、弊社社長からある事を頼まれたことが縁でMSに参加するようになりました。

それは「私と一緒に蔵王のMSに来て、話を聴いてみて、もし会社の為になるようだったら、3つの工場と同じような朝礼を出来るように指導してくれないか」というものでした。

そこで、半年ほどかけて活力朝礼を真似た朝礼マニュアルを作り、宮城、福島、山形を回って指導をいたしました。

活力朝礼を始めた成果として、全ての工場、営業所において月次目標達成への一体感が出てきました。売上と利益に対して、皆で

絶対目標を達成するという意識が強くなりました。

朝礼で声を揃えることは気持ち揃えることです。それがベースとなって、目標への一体感が生まれ、達成の方へ向かうことができたのです。

当社の職場はパートさんが多いのですが、作業自体は社員さんと分け隔てがありません。私はパートだから目標なんて関係ないというのは問題ですので、どうしてもパートさんに一体感を持っていただきたい。そういう意味で朝礼と倫理は欠かせないですし、実際に役に立っています。

朝は誰もが一番忙しい時間なのでしようが、そこで一旦気持ちをひとつにして、きちんと揃った朝礼をすれば、その後のスタートが違ってくるものです。

今は、朝礼の質の向上が課題です。このことは弊社社長からも強く求められております。もともとと徹底させなくてはいけないと思っております。

社長の方針により、当社では雇用について積極的に障がい者の方の受入れと職場見学を推進しております。製造の部門ですと、対人ではなくラインの中での作業なので、障

がい者であっても十分仕事ができます。知的、精神、身体の区別なく、見学していただいてこれなら出来るという方で、もしその方が適任であるならば、受け入れていきます。それで働いていただいている方もいらつしやいます。

社長は、自分の周りにおられた、障害者と暮らすご家庭が就職に大変苦労されているをみて、税金を納めるだけが社会貢献ではないだろう。当社は障がい者雇用を推進しようという強い思いから始められました。300人超を雇える会社の社長がそう考えるのはまさしく天の配剤であり、大変素晴らしい事だと思えます。

万人幸福の葉の目次は倫理を凝縮して一番良い言葉だと思いませんか。私はそれが自然と出てくるようになりました。自分の生き方、考え方、行動にそれを活かしていけば、何もしないでも自然と運が向いてきます。倫理は目次が全てだと思います。今日は

最良の一日だからと思っていれば、何か良い事があるかもしれない。お客様に会いに行く時は無二の好機だと思つて行く。目次の言葉がどんどん頭に浮かんできます。確かに当り前のことが書かれているのですが、葉は私の支えになってくれるともありがたい本です。

誰もが困つた時は神頼み。でも、倫理はそういうものではありません。信ずれば成るのは自分の生き方次第です。何か悪いことが起きればそれは自分が悪かつたから、至らない事があつたからだと考えられるようになりました。

MSは身が引き締まります。土曜日は仕事なのですが、喜んで進んで働きますと言つたその日は他の曜日よりもよく働けますね。これからは、業務の関係でMS以外の様々な行事への参加が難しいのですが、できるだけ都合をつけて交流を深め、さらに倫理を楽しんでいきたいです。

2月のMS

- 2月5日(土) 第348回
『元気が一番2011』
講師：長野県佐久平倫理法人会
相談役 木内藤人 様
- 2月12日(土) 第349回
『あたりまえの中にヒントが!』
講師：さとみの漬物講座企業組合
理事長 新聞 さとみ 様
- 2月19日(土) 第350回
『商売繁盛の秘訣』
講師：(社)倫理研究所
法人局参事
盛田良次 様
- 2月26日(土) 第351回
『富士研報告』
(株)でん六
阿部 宏 様
中村勝義建築事務所
中村正利 様

1月のモーニングセミナー便り

『広報は純粋倫理への招待状』

県広報委員長 土屋和浩様

▼広報委員会の仕事は、広報最上川の発行、新聞広告とラジオCMの制作、ホームページリニューアル、県20周年記念誌を作成、単会広報紙コンテンツを開催と多岐にわたっています。▼広報は「純粋倫理への招待状」です。なぜなら、広報物によって、会員であるかどうかを問わず、読まれた方の人生が大きく変わることもあるからです。招待状だからこそ心を込めて、感謝の気持ちを添えながら丁寧に制作しています。

『人との出会い、倫理との出会い』

県研修委員長 國分浩実様

▼私の人生を変えたインパクトの強い2人の方の1人は、当社の鈴木誠社長です。▼社長は私の後に平社員として入社しました。どうせ社長の息子だし、生まれた時から差が付いているからと、ひがみ、やつかみを持ってしまい馴染めずにいたところ、忘年会の時に酔った勢いで、腹の内を出しあって本気で大喧嘩。その後、何でも言い合えるようになり、年が近く、考え方も近いため、常に二人で行動するようになりまし

イナスで丁度いいですし、私はこの人と一生を仕事していこうと心に決めていきます。▼もう1人の、菅原

県副会長には、うちの会社に足りないものは何だろうとお酒を飲んでよく悩みを聞いていた。お見通しでした。足りないもの、欠けているものをズバズバ言われま

た。そこから、自分がやらないと従業員は絶対ついて来ないという事を明確に感じるようになりました。▼変えるのは挨拶からだ！と気づいて、玄関のタイムカードの前に立つて毎日挨拶かわすようにしました。2カ月過ぎて共感者が現れまし

た。ナンバー2の製造部長が挨拶をきちんとしてできない社員を追いかけていって「いまの挨拶なんだ」と叱るのです。まさに鬼ごっこ。さらに共感者が増えてくると、係長が職場の前で挨拶。▼挨拶しろと命令するのはなく、まず自分が挨拶を実践すれば、社員はついてくるし、進むべき方向もひとつになることを身を持って体験いたしました。

『笑顔の温もり』

(社) 倫理研究所 企画室
与細智久研究員

▼簡単な実践ですが、相手をじっと見てみる。見るときに必要になってくるのは眼です。愛をめでもと読みます。まずは相手のありのままをじっと見てみる。そのとき、笑顔がでてくるのがありませんか。

『いかに学生の目線を上げる教育を行うか』

山形大学 教授 福島真司様

▼私どもが今取り組むべき課題は、創造性を必要とする問題なのか、誰もが努力すればすぐ答えられる問題なのかということです。▼20世紀は答えが決まっていました。欧米に追い付け追い越せ。GMの車を買ってきて全て分解して部品の1個1個を調べ上げて、これよりもいいものを安く作る。日本の車はGMを超えました。▼21世紀は多くの人が知恵を持ち寄りながら、これまで無かったアプローチで創造性高く解決する時代です。▼では、どういう方が創造性を発揮するか。自主性||自分の人生の方向を自分で決めたい。

成長性||何か大事な事について上達したい。目的||自分の事よりも大きな何かをやりたい。この3つを持つ人が誰もがやれない創造的な事を突破した人たちです。▼モチベーションを上げるためにいい加減、意味の無い鉛と鞭は止めてはどうか。内発動機(気持ちの問題)を単純な外発動機(ボーナスあげるよ)に変えてしまおうと人間の可能性を奪ってしまいます。▼成功するには高いモチベーションを持つ事です。山形の為、日本の為、地球の為というように目線を高くした者は、少々の困難にへこたれませんが、そういう人だけが、もし貧乏であっても幸せに近づけることになります。

山形市蔵王倫理法人会に寄せて

山形県倫理法人会
相談役 熊谷真一

名は体を表す。

貴会は、見守られている、見張られている、の二つの意味に於いて文字通り蔵王からいつも見つめられています。倫理の根底にあるのは「地球倫理」です。貴会にはその名にふさわしく、率先して「地球倫理」に目を向けていただきたいと願っています。

美しい豊かな大自然は、地球誕生からの悠久の歴史の中ではほんのひとこまに過ぎず、地球はいつでも微生物からやり直せます。「得るは捨つるにあり」の目指すべきは究極そこにあります。

又、蔵王の中に蔵王という山はなく、連峰として、総体としての蔵王であることは貴会の個性を暗示するものです。設立から今日に至る迄の貴会の営みに、心からの「蔵王讃歌」を贈ります。

